

令和6年度 第2回丹波市森林林業振興協議会 会議要録

■日 時 令和7年2月12日（水）午後1時30分～午後2時45分

■場 所 氷上住民センター 実習室

■出席者

（委 員）

林 時彦 会長	高橋 徹 副会長	中尾 正文 委員
本庄 修 委員	能口 秀一 委員	足立 栄逸 委員
村上 芳功 委員	門上 幸子 委員	石塚 和彦 委員

計9名

（欠席委員）

谷垣 陽一 委員	西脇 誠 委員	谷川 光二 委員
----------	---------	----------

（オブザーバー）

（丹波農林振興事務所 森林課長）
上田 敦祐

（事務局）

（産業経済部長）	（農林振興課長）	（農林振興課副課長兼農業振興係長）
北野 壽彦	田村 猛	百木 稔
（林業振興係長）	（林業振興係 主査）	（林業振興係 主査）
岡本 渡	中西 大器	依藤 敏紀
（林業振興係 主事）	（林業振興係 主事）	
田井 魁人	矢持 義喜	

■傍聴者 2名

会 議 要 旨

<進行：事務局>

1. 開会

ただいまから、令和6年度第2回丹波市森林林業振興協議会を開催させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、本協議会におきましては、自治基本条例に基づきまして、公開することとしております。本日の協議内容におきまして、個人情報に関する事項はございませんので、希望者の傍聴を許可してもよろしいでしょうか。

（「異議無し」の声）

それでは、傍聴を許可いたします。

ここで林市長よりご挨拶を申し上げます。

2. 市長あいさつ

【挨拶要旨】

本日、「丹波市森林林業振興協議会」を開催いたしましたところ、委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

平素は、丹波市における森林整備や木材利用の推進など、それぞれの立場において、林業振興にご尽力をいただき、心から感謝を申し上げます。

本日は、今年度の事業実施状況と、令和7年度の事業概要及び今後の林業施策についてご説明を申し上げ、委員皆様の忌憚のないご意見をいただき、皆様とともに、今後の森林施策をより一層進めてまいりたいと考えています。

限られた時間ではございますが、皆様のご協力をお願い申し上げ、最初のあいさつとさせていただきます。

3. 委嘱書の交付

【事務局】

委員の皆様には、本日より2年間の任期でご就任いただいております。本来であれば、市長から委嘱書をお渡しさせていただくところではございますが、時間の都合上、机上交付とさせていただきますのでご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。

4. 自己紹介

～順次自己紹介～

5. 副会長選出

【事務局】

丹波市森林林業振興協議会設置要綱第5条第2項に“会長は市長をもって充て”との規定がございますので、林市長に協議会の会長に就任いただきます。

第3項に“副会長は委員の互選による”と規定されております。副会長の選任につきまして、委員の皆様にお諮りいたします。いかがいたしましょうか。

（「事務局一任」の声）

それでは僭越ではございますが、事務局から提案させていただきます。本協議会のこれまでの例によりまして、副会長には丹波農林振興事務所の高橋所長様にお願いしたく存じます。よろしく願いいたします。

それでは、以降の議事につきましては、会長である林市長より進行をお願いいたします。

<以降の進行：会長>

6. 報告事項

【会 長】

それでは、次第5. 報告事項①②について事務局から説明をお願いします。

～報告事項 ①令和6年度林業振興施策の実施状況について

②森林環境譲与税活用事業の使途内訳（令和6～7年度）について

事務局から説明～

【会 長】

報告事項について何かご質問ご意見等はございませんでしょうか。

【A 委員】

住民参画型森林整備事業と丹波の里山づくり促進事業について、実施なしとありますが、これは要望自体が無いのか、予算等の関係で実施できなかったのかどちらでしょうか。

もう一つ、来年度の公共施設等の木材利用について、例えば、図書館に薪ストーブを導入する等の具体的なイメージがあれば、教えていただきたいです。

【事務局】

住民参画型森林整備事業の方は、自治会等の組織に県民緑税を活用して、森林整備に係る資機材の支援を行う事業ですが、今年度につきましては、要望がありませんでした。

里山づくり促進事業は、県民局が主導の事業であり、丹波管内で活動する住民組織に里山づくりアドバイザーの派遣を実施しておりますが、記載できておりませんでした。この項目につきましては、次回以降、書き方を改めさせていただきます。

公共施設等の木材利用について、令和7年度も中学校の学習机・椅子の導入に市産材を活用することを計画しています。また、市島支所の跡地に建つ複合施設でも、市産材を活用して木質化に取り組む予定です。

7. 協議事項

【会長】

協議事項について事務局よりご説明をお願いします。

～協議事項 ①令和7年度林業振興施策の概要について

②今後の林業振興施策について

②-1 森林づくりビジョンの実現に向けた施策の展開

②-2 森林資源の循環利用と需要拡大

事務局から説明～

【会 長】

説明が終わりました。ご意見ご質問等がございましたらお願いいたします。

【B 委員】

地元産材利用促進事業について、個人住宅からそれ以外の建築物まで、事業の対象を拡大されるとあるが、目標値や、個人住宅と別に分けて促進するような具体的な策があるのでしょうか。昨年度より実績件数が減少しており、全国的にも住宅の着工数が減る中で、木材の地産地消を今まで通りの仕組みで行うことが難しいことは確かです。

その点でも、目標値の設定の仕方と具体的な策を教えてくださいたいです。

【事務局】

地元産材利用促進事業について、来年度より事務所や店舗まで対象を拡げますが、年度単位の目標値について、数値は検討段階です。

工務店の方々へのヒアリングや、住宅の着工数が少ない原因の分析を同時に進めながら、市として実現可能な目標値を設定します。

【事務局】

非住宅の木材利用への補助金は初めてですので、事業者の皆さんがどういったニーズをお持ちなのか、改めて調査から進めていきたいと思えます。

また、県下の他の市町村がどういったアプローチをしているのか、引き続き研究をさせていただきます。

【C 委員】

県産木材の利用状況が悪く、令和5年度ですが、県内製材工場の県産木材製品の出荷量は目標の70%しか達成していません。公共施設における県産木材使用量に関しては、目標の44%しか達成していません。

県内の素材生産は、達成率121%ですが、多くが木質バイオマスに使われています。

この現状を踏まえた上で、施策を考える必要があります。

丹波市は頑張っていますが、県が目標の半分しか達成できていないことは課題です。そういった課題を解決していかないと、木材利用は進まないと思います。

【事務局】

2月20日に県主催で県産木材の利用に関する会議があります。

C委員のご意見を念頭に置き、県の考えを聞きたいと思います。

【D 委員】

里山防災林整備事業について、多くの地域から要望があると聞きます。

とても良い事業だと思いますが、今の申し込みはどれくらいありますか。

【事務局】

里山防災林整備は県民緑税を使った事業ですが、今年度につきましては、青垣町田井縄、春日町池尾で実施しています。来年度は青垣町口塩久、その次に青垣町市原と氷上町沼で実施予定です。

年に1～2箇所で採択を受け、事業に取り組んでいます。

【事務局】

里山防災林整備は、県民緑税を財源とする県の事業で、各市で出てきた要望に対して県の方から緊急度を審査し、丹波市については毎年1～2箇所を計画的に採択していただいています。

一方で、里山防災林整備の面積条件に該当しない小規模な場所には、森林環境譲与税を財源とする緊急里山林整備事業を案内しています。その事業の要望についても、まだ40箇所程度が待ってもらっています。

面積条件から2つの事業のうち効果的な事業を案内するようにしています。

【副会長】

県民緑税を活用した災害に強い森づくりは5年を1期として、効果を検証しているので、どの補助金についても同じことが言えますが、今後も続く保証はありません。防災の意識は高まっているので、引き続き存続すると思います。ただ、都市部の方でも一律で一人800円の税を徴収しており、都市部から要望が強くなっています。緊急性の高

いところから実施していくのでご理解いただきたいと思います。

【E 委員】

この場でお話しすることではないかもしれませんが、里山防災林整備事業で実際に山に入って整備をするときに、初年度に実施する調査業務を行う業者が、山に対する知識や経験が不足している場合、調査結果が現場と異なることが多く、その結果、事業実施段階で、想定以上の費用と時間がかかってしまうケースがありました。初年度の調査業務の適正な取り組みをお願いします。

【副会長】

ご意見を頂きありがとうございます。県の担当へ伝えさせていただきます。

【会長】

他にありませんか。

無いようでしたら、副会長より閉会のご挨拶をいただきます。

【副会長】

本日はご多忙の中、お集まりいただきありがとうございました。

住宅の着工数がしぼんでいく中で、民間施設へも使っていただける仕組みが大事だと思います。

県民緑税につきましては、令和8年度から5期目に入りますので、そこに向けて進めているところでございます。

また、県の方では、分収造林事業の見直しを行い、新しい森林管理の話も出ており、県と市の施策のすり合わせが必要だと思います。

丹波市のビジョン実現に向けては、関係者のご理解とご協力が必要ですので、引き続きよろしくお願いします。

【午後2時45分閉会】